

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3144328号
(U3144328)

(45) 発行日 平成20年8月28日 (2008. 8. 28)

(24) 登録日 平成20年8月6日 (2008. 8. 6)

(51) Int. Cl.

G 0 6 F 3/02 (2006. 01)

F 1

G 0 6 F 3/02 3 1 0 D

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2008-2037 (U2008-2037)

(22) 出願日 平成20年3月5日 (2008. 3. 5)

(73) 実用新案権者 508100893

柴田 悟

東京都練馬区向山 3 丁目 2 1 - 2 8

(72) 考案者 柴田 悟

東京都練馬区向山 3 丁目 2 1 - 2 8

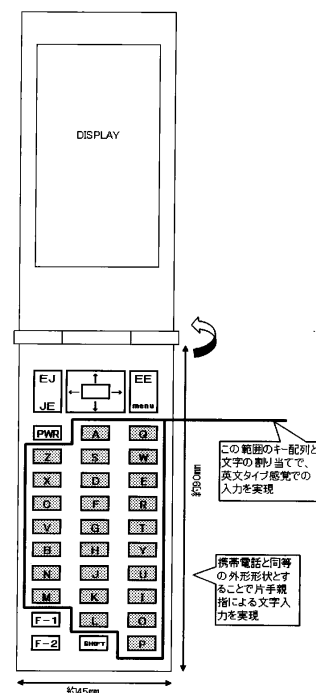
(54) 【考案の名称】 片手で操作できるポータブル型電子英和・英英辞書

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 主として英文タイプ配列のキーボードを用いて文字入力する人が、そのキー配列感覚を維持しながら、携帯電話のように片手親指で操作できるポータブル型電子英和・英英辞書を提供する。

【解決手段】 携帯電話を模した縦長の外形形状とし、1行3文字×10行のキー配列とする。アルファベットは英文タイプ配列を90°右回転させた形で、各キーに割り当てる。これにより、パソコンや従来の電子英和・英英辞書と同じ入力感覚で、片手親指操作が可能となる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

英文タイピング利用者が片手親指で簡便に入力できることを特徴とする、ポータブル型電子英和・英英辞書の形状と文字入力キーの配列および文字の割り当て。

【請求項 2】

前記、片手親指で入力できる簡便性は、携帯電話型の外形形状に文字入力キーを 1 行 3 文字×10 行に配列して得られることを特徴とする請求項 1 記載の文字入力キー配列。

【請求項 3】

前記、英文タイピング利用者に提供される簡便性は、英文タイプ配列を 90° 右回転させて、縦型に配置する事で実現されることを特徴とする請求項 1 記載のアルファベットの文字入力キーへの割り当て。

10

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この考案は、ポータブル型電子英和・英英辞書の形状と文字入力キーの配列および文字割り当てに関する。

【背景技術】

【0002】

従来のポータブル型電子英和・英英辞書の形状およびキー配列は図 2 に示すように、横長縦開き型の本体に、英文タイプ配列または A B C 順で文字入力キーを配置したものであり、その使用は机などに置いて片手で使うか、両手で持って操作することを前提に作られている。

20

従来の携帯電話に付属する英和・英英辞書機能は、片手親指操作を前提としているものの、図 3 に示すようにテンキーに、2 = A, B, C 3 = D, E, F のように複数の文字が割り当てられている。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、以上の技術によれば、従来のポータブル型電子英和・英英辞書では、英文を読みながら辞書を引く、具体的には片手に文書を持ったまま他方の手で辞書を操作することが出来ない。従来の携帯電話に付属する英和辞書機能では、上記操作は可能だが、入力が非常に煩雑で入力ミスも多く実用的でない。

30

そこで、この考案は、パーソナルコンピューターや従来型の電子英和・英英辞書の操作において、主として英文タイプ配列のキーボードを用いて文字入力する人が、そのキー配列感覚を維持しながら、携帯電話のように片手親指で操作できるポータブル型電子英和・英英辞書を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0004】

以上の課題を解決するために、第一考案は、携帯電話型の外形形状に文字入力キーを 1 行 3 文字×10 行で配列することを特徴とするポータブル型電子英和・英英辞書である。

40

また、第二考案は、英文タイプ配列を 90° 右回転させた形で、アルファベットを各文字入力キーに割り当ててことを特徴とするポータブル型電子英和・英英辞書である。

【考案の効果】

【0005】

第一考案、または第二考案によれば、現在普及している携帯電話と同様の形状と大きさを確保することによって、片手に持って親指操作することが可能となる。しかも、英文タイプ配列を 90° 右回転した形で文字入力キーを割り当てることから、主として英文タイプ配列のキーボードを用いて文字入力する人が、パソコンや従来のポータブル英和・英英辞書と同じ入力感覚で文字入力操作することが可能となる。加えて、和英辞書、国語辞書についても、多くのユーザーが使っているローマ字入力が可能となる。

50

【実施例】

【0006】

この考案の一実施形態を、図1に示す。

ポータブル型電子英和・英英辞書の外形は一般的な携帯電話と同様であり、ディスプレイは本体上部または見開き面に配置される。文字入力キー以外のキー配列は自由に設定できるが、全体を親指で操作できる範囲で配置するようにする。

【図面の簡単な説明】

【0007】

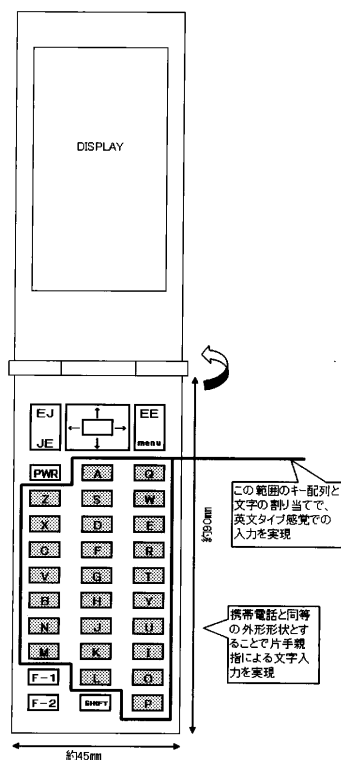
【図1】 この考案の一実施形態を示す正面図である。

【図2】 従来技術のうちポータブル英和・英英辞書における入力キー配列の一例を示す正面図である。

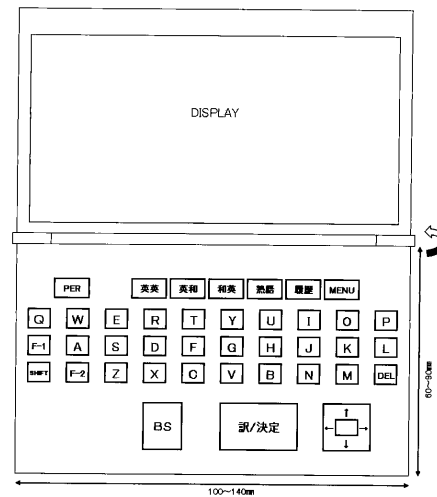
10

【図3】 従来技術のうち携帯電話における入力キー配列の一例を示す正面図である。

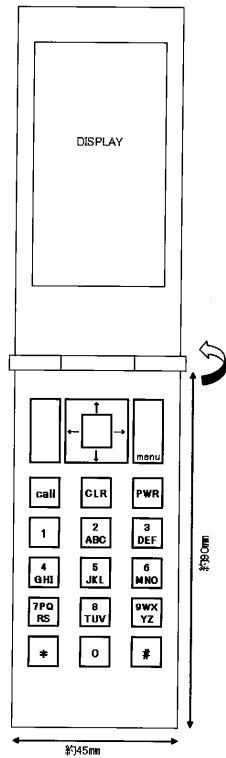
【図1】



【図2】



【図 3】



【手続補正書】

【提出日】平成20年5月28日(2008.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

ポータブル型電子英和・英英辞書における、片手親指で操作できることを特徴とする、折りたたみ式携帯電話型の外形形状と、アルファベットを簡便に入力できることを特徴とする、1行3文字で全10行よりなる文字入力キー配列構造の組み合わせ。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

この考案は、ポータブル型電子英和・英英辞書の外形形状と文字入力キー配列構造の組み合わせに関する。

【背景技術】

【0002】

従来のポータブル型電子英和・英英辞書の外形形状および文字入力キーの配列構造は図

2に示すように、横長縦開き型の本体に、英文タイプ配列またはA B C 順配列で文字入力キーを配置したものであり、その使用は机などに置いて片手で操作するか、両手で持って操作することを前提に作られている。

従来の携帯電話に付属する英和辞書機能は、片手親指操作を前提としているものの、図3に示すように2から9のテンキーに、2 = A, B, C 3 = D, E, F のように複数の文字が割り当てられた、文字入力キー8個を組み合わせた配列構造である。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、以上の技術によれば、従来のポータブル型電子英和・英英辞書では、英文を読みながら辞書を引くこと、具体的には片手に文書を持ったまま他方の手で辞書を操作することが出来ない。従来の携帯電話に付属する英和辞書機能では、上記操作は可能だが、ひとつのキーに3個以上の文字が割り当てられていることにより、入力が非常に煩雑で入力ミスも多く、電子辞書としては実用的でない。

そこで、この考案は、従来型の電子英和・英英辞書のように、入力キーと入力文字が1:1で対応する入力方法を維持しながら、携帯電話のように片手親指で操作できるポータブル型電子英和・英英辞書を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0004】

以上の課題を解決するための考案は、折りたたみ式携帯電話型の外形形状と、1行3文字で全10行よりなる文字入力キー配列構造の組み合わせを特徴とするポータブル型電子英和・英英辞書である。

【考案の効果】

【0005】

本考案によれば、現在普及している折りたたみ式携帯電話と同様の外形形状を確保することによって、片手に持って親指操作することが可能となる。しかも、文字入力キーを1行3文字で全10行よりなる配列構造とすることで、キーとアルファベットが1:1で対応することになるため、1行3文字よりなる携帯電話と同じ操作感覚で、かつ、従来の携帯電話に付属する辞書機能のように一つのキーに複数の文字が割り当てられることに起因する、文字入力上の煩雑性が解消される。

追加的に得られる利便性として、これに、英文タイプ配列を90°右回転した形で文字入力キーを割り当てれば、日常的に英文タイプ配列のキーボードを用いて文字入力する人が、パソコンや従来のポータブル英和・英英辞書と同じ入力感覚で文字入力操作することが可能となる。

【実施例】

【0006】

この考案の一実施形態を、図1に示す。

ポータブル型電子英和・英英辞書の外形形状は、一般的な折りたたみ式携帯電話と同様であり、ディスプレイは見開き面に配置される。文字入力キーはそれ以外のキーとともに、全体を親指で操作できる範囲で配置するようにする。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】この考案の一実施形態を示す正面図である。

【図2】従来技術のうちポータブル英和・英英辞書における外形形状と入力キー配列構造の一例を示す正面図である。

【図3】従来技術のうち携帯電話における外形形状と入力キー配列構造の一例を示す正面図である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

図面代用写真(カラー)

